

# 十七文字の抒情詩



あっと言う間に月日は流れるものです。  
梅雨も明け本格的な夏到来。  
今年は例年以上に暑い夏になりそうで、  
すでに熱中症の方も急増とか。  
皆様どうかご自愛下さいね。

今回は健さん、うさおさんに  
投句いただきました。

まず健さんの句です。

## 港町十三番地つばめ飛ぶ

港町十三番地・・・美空ひばり・・・と連想しますが、つばめ。  
余計な言葉が無い分すーっと低く空を飛ぶつばめの姿が見えてきます。

## すり減らし駅のスタンプ梅雨曇り

日ごろあまり目を向けない駅のスタンプ、それがすり減っている。  
季語もあっていて佳い句になっていますね。

## 私もまた自由人なり蝸牛

のんびりゆったりの蝸牛を自分におきかえられたのですね、  
小林一茶っぽくって面白いです。

## 敷石のひびに雑草半夏生

暑さに耐えてこんなところにも雑草は生えている。作者の優しい目も感じる一句。  
季語との取り合わせも良いですね。

\*敷石のひびの雑草半夏生

## 噴水の端は大きく折れ曲がり

勢いよく上る噴水の先っぽは確かに大きく折れ曲がっていますね。  
こういう風に観察する目も俳句には必要です。

\*噴水の端の大きく折れ曲がる

続いてうさおさんの句です。

父も来て燕の子らも手を振って

お父様がいらっしゃったとも取れるし父親燕が来たとも取れます。

\*父来(きた)る燕も来(きた)る子らの元

梅雨空に老舗の消える中華街

佳い句ですね。季語で一つずつ消えていく老舗、淋しくなる中華街の様子が見えてきます。 \*梅雨空や老舗の消える中華街

節電の夏は廊下が天下なり

節電も必要ですが熱中症も心配・・・部屋の中でも涼しい部屋もあるしやけに暑い部屋もある。でもなんと言っても風通しの良い廊下が一番。面白い句になっています。 \*節電の夏は天下の廊下かな

哀れなり紫陽花の葉の萎れよう

何よりも水が大好きな紫陽花は日照りが続くととたんに萎れてしまいます。哀れなりと言わなくても哀れさは感じられます。

シンプルに詠んだ方が良いと思います。 \*紫陽花の葉のたちまちに萎れけり

お二人とも面白い良い句が生まれていますね。



3月11日の地震以来国民はひとつに、  
でも政治はちぐはぐに・・・  
原発の大きな問題もあり、  
日本だけでなく地球そのものが  
少しずつおかしくなっているように思います。  
もう一度原点に戻って考えなければならない時期が  
来ているのでしょうか。

単帯ぼんと女の気概かな

唐突に笑ふみどり児若葉風 ゆうこ

